【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公開番号】特開2017-165412(P2017-165412A)
【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2017-036
【出願番号】特願2017-117915(P2017-117915)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　21/207　(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　2/427　(2006.01)
Ｂ６０Ｎ　2/64　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　21/207
Ｂ６０Ｎ　2/427
Ｂ６０Ｎ　2/64

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月13日(2017.9.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エアバッグモジュール装備シートのトリムカバーの破断部に一端部が取り付けられる力布の他端部に接続される取付部材であって、
該取付部材は、前記エアバッグモジュール装備シートのサイドフレームの縁部の端部を挟持する溝部と、前記力布の他端部を内部に保持する保持空間と、を備え、
前記溝部には、該溝部の内側に突出する突起が形成されており、
前記突起は、前記サイドフレームの縁部の裏面及び表面にそれぞれ当接することを特徴とする取付部材。
【請求項２】
前記保持空間は、シート幅方向外側に開口していることを特徴とする請求項１に記載の取付部材。
【請求項３】
前記溝部が延在する方向は、前記保持空間から前記破断部に延在する前記力布の少なくとも一部の延在方向と同一の方向であることを特徴とする請求項１又は２に記載の取付部材。
【請求項４】
前記力布の他端部は、前記サイドフレームの外側から回り込んで、前記保持空間に取り付けられていることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか一項に記載の取付部材。
【請求項５】
前記保持空間は、前記サイドフレームの、シート幅方向における外側の端部と内側の端部との間に形成されていることを特徴とする請求項１乃至４のいずれか一項に記載の取付部材。
【請求項６】
前記保持空間から前記力布の延びる側へ延在するとともに鈍角に屈曲する外面が形成されていることを特徴とする請求項１乃至５のいずれか一項に記載の取付部材。

【請求項７】
請求項１乃至６のいずれか一項に記載の取付部材と、
前記取付部材が取り付けられる端部にフランジが形成されている前記サイドフレームと、
前記サイドフレームに取り付けられており、エアバッグを格納するエアバッグモジュールと、
前記エアバッグの膨張による応力を前記トリムカバーの前記破断部に伝達する前記力布と、を備えることを特徴とするエアバッグモジュール装備シート。
【請求項８】
前記力布の他端部は、前記エアバッグモジュールと前記サイドフレームとがボルトで接続される部分よりも、シート幅方向の内側に配置されていることを特徴とする請求項７に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項９】
前記力布の他端部は、前記サイドフレームの前縁部における内端部と、前記サイドフレームの後縁部における内端部とを結ぶ線分よりも、シート幅方向の外側に配置されていることを特徴とする請求項７又は８に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【請求項１０】
前記取付部材は、前記サイドフレームの縁部の内側の面及び外側の面に覆い被さるように取り付けられていることを特徴とする請求項７乃至９のいずれか一項に記載のエアバッグモジュール装備シート。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
前記課題は、本発明の取付部材によれば、エアバッグモジュール装備シートのトリムカバーの破断部に一端部が取り付けられる力布の他端部に接続される取付部材であって、該取付部材は、前記エアバッグモジュール装備シートのサイドフレームの縁部の端部を挟持する溝部と、前記力布の他端部を内部に保持する保持空間と、を備え、前記溝部には、該溝部の内側に突出する突起が形成されており、前記突起は、前記サイドフレームの縁部の裏面及び表面にそれぞれ当接すること、により解決される。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
このように、溝部にはその内側に突出する突起が形成されているので、取付部材をサイドフレームに組み付けるときの組付け性が向上する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
このとき、前記保持空間は、シート幅方向外側に開口していると好適である。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
このとき、前記溝部が延在する方向は、前記保持空間から前記破断部に延在する前記力布の少なくとも一部の延在方向と同一の方向であると好適である。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
このとき、前記力布の他端部は、前記サイドフレームの外側から回り込んで、前記保持空間に取り付けられていると好適である。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
このとき、前記保持空間は、前記サイドフレームの、シート幅方向における外側の端部と内側の端部との間に形成されていると好適である。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
このとき、前記保持空間から前記力布の延びる側へ延在するとともに鈍角に屈曲する外面が形成されていると好適である。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、前記課題は、本発明のアバッグモジュール装備シートによれば、上記いずれかの取付部材と、前記取付部材が取り付けられる端部にフランジが形成されている前記サイドフレームと、前記サイドフレームに取り付けられており、エアバッグを格納するエアバッグモジュールと、前記エアバッグの膨張による応力を前記トリムカバーの前記破断部に伝達する前記力布と、を備えること、により解決される。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
このとき、前記力布の他端部は、前記エアバッグモジュールと前記サイドフレームとがボルトで接続される部分よりも、シート幅方向の内側に配置されていると好適である。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、前記力布の他端部は、前記サイドフレームの前縁部における内端部と、前記サイドフレームの後縁部における内端部とを結ぶ線分よりも、シート幅方向の外側に配置されていると好適である。
さらに、前記取付部材は、前記サイドフレームの縁部の内側の面及び外側の面に覆い被さるように取り付けられていると好適である。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
本発明によれば、溝部にはその内側に突出する突起が形成されているので、取付部材をサイドフレームに組み付けるときの組付け性が向上する。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５

【補正方法】削除
【補正の内容】